

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	城西大学（学部・学科等の課程）			設置者名	学校法人 城西大学				
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和3年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
経済学部	経済学科	昭和40年度	300人	中一種免（社会）	平成12年度	269人	3人	1人	0人
				高一種免（公民）	平成12年度			2人	
現代政策学部	社会経済システム学科	平成18年度	250人	中一種免（社会）	平成19年度	252人	5人	4人	1人
				高一種免（公民）	平成19年度			5人	
経営学部	マネジメント総合学科	平成16年度	500人	中一種免（社会）	平成16年度	488人	24人	8人	3人
				高一種免（公民）	平成16年度			8人	
				高一種免（情報）	平成16年度			3人	
				高一種免（商業）	平成16年度			11人	
理学部	数学科	昭和40年度	120人	中一種免（数学）	平成12年度	110人	49人	45人	21人
				高一種免（数学）	平成12年度			49人	
				高一種免（情報）	平成18年度			12人	
	化学科	昭和40年度	90人	中一種免（理科）	平成12年度	74人	10人	10人	5人
				高一種免（理科）	平成12年度			10人	
薬学部	薬科学科	平成18年度	50人	中一種免（理科）	平成18年度	49人	0人	0人	0人
				高一種免（理科）	平成18年度			0人	
	医療栄養学科	平成13年度	100人	栄教一種免	平成17年度	76人	0人	0人	0人
入学定員合計			1,410人	合計		1,318人	91人	168人	30人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「学部・学科等の名称等」欄は、令和4年4月1日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。 								

大学名	城西大学大学院（研究科・専攻等の課程）			設置者名	学校法人 城西大学				
研究科・専攻等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和3年度）			
研究科	専攻等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
経済学研究科	経済政策専攻	昭和53年度	10人	中専免(社会)	平成2年度	4人	0人	0人	0人
				高専免(公民)	平成6年度			0人	
経営学研究科	ビジネス・イノベーション専攻	平成15年度	25人	中専免(社会)	平成15年度	28人	0人	0人	0人
				高専免(公民)	平成15年度			0人	
理学研究科	数学専攻	平成10年度	10人	中専免(数学)	平成10年度	人	0人	0人	0人
				高専免(数学)	平成10年度			0人	
	物質科学専攻	平成16年度	12人	中専免(理科)	平成16年度	2人	1人	1人	1人
				高専免(理科)	平成16年度			1人	
入学定員合計			57人	合計		34人	1人	2人	1人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「研究科・専攻等の名称等」欄は、令和4年4月1日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各専攻等の実人数、「個別」欄は各専攻等内の教職課程ごとの人数を記載してください。 								

教職課程認定大学の实地視察に対する講評

実地視察日：令和4年11月2日（水）

実地視察大学：城西大学

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き教員養成の水準の維持・向上に努めてもらいたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教育活動の目標に「学問による人間形成」を挙げているが、その目標を明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めてもらいたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織

- シラバスにおいて、教職課程コアカリキュラムを満たしているかが判然としないものが見受けられた。実際には必要事項を扱っていることが確認できたが、シラバスの内容に関して、全学的なチェック体制を確立することが望ましい。
- 授業科目を指導する際に期待される専門的知識が、研究業績等を踏まえると充分であるか判然としない教員が散見された。採用後も研究業績を積むよう、大学として支援していただきたい。
- 実務家教員を多く採用していることは有効と思われるが、一方で、授業科目の特性に応じて研究者教員とのバランスも重要なため、計画的な人事配置に努めてもらいたい。
- 各教科の指導法等を担当する教員への支援は行われているが、全学的なFD研修が実施されていない。教員養成や教職課程の充実に向けたテーマのFD研修を実施できるよう注力願いたい。

3. 教育実習の取組状況

○母校実習を中心に実施しているが、すべての実習先に教員が訪問しており、丁寧な指導が行われていることが確認できた。引き続き丁寧な指導を継続していただくとともに、近隣の教育委員会との良好な関係を活かし、将来的には地域の公立学校でも教育実習を実施できるよう、実習先を拡大することも検討願いたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○教員免許取得者及び教員就職者が徐々に増加しており、学生が教職科目を履修しやすいよう時間割の配置を見直す等の取組が見られる。引き続き学生が教員免許を取得しやすい環境の整備に努めてもらいたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 近隣の教育委員会が取り組んでいる ICT 教育の現状や、導入しているシステム等の状況をよく把握した上で、それに対応した教員養成を実施していることが確認できた。
- 「スチューデント・インターンシップ」及び学習支援ボランティアは有効な取組みであると評価できる。学生が学校現場を体験するだけでなく、現場の教員と連携することにより、充実した機会として活用してほしい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 教職課程センターに保管されている図書について、特定の出版社の教科書しか用意されていない教科が見られた。学生が教科書会社による違い等を比較することができるよう、複数の出版社の教科書を用意することが望ましいため、更なる充実を検討願いたい。

7. その他特記事項

- 教職課程センターを核として、丁寧な教員養成が行われているように思われる。今後もさらなる充実に努めていただきたい。